

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月12日

上場会社名 株式会社 ガーラ

上場取引所 東

コード番号 4777 URL <http://www.gala.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役グループCEO

(氏名) 菊川 暁

問合せ先責任者 (役職名) 管理部門担当部長

(氏名) 藤田 公司

TEL 03-5778-0321

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-----|-------|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第3四半期 | 358 | △28.0 | △390 | — | △392 | — | △415 | — |
| 27年3月期第3四半期 | 497 | △18.6 | △227 | — | △197 | — | △203 | — |

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 △417百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 △246百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第3四半期 | △26.62 | — |
| 27年3月期第3四半期 | △14.91 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-----|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 28年3月期第3四半期 | 1,272 | 914 | 69.6 | 56.10 |
| 27年3月期 | 676 | 240 | 30.5 | 14.02 |

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 885百万円 27年3月期 206百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 28年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 28年3月期(予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

当社及び当社グループは、スマートフォンアプリ事業における、アプリの開発やダウンロード配信が予定どおりに進まない可能性や、ダウンロード配信開始後のアプリによる課金収入の予測が極めて困難であり、また、オンラインゲーム事業における、既存タイトルのバージョンアップによる業績予想が極めて困難であることから、業績予想の公表を差し控えさせていただきます。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 株式会社ガーラウェブ
 第1四半期連結会計期間において、株式会社ガーラウェブの全株式を譲渡したことにより、連結の範囲から除外いたしました。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 28年3月期3Q | 15,786,000 株 | 27年3月期 | 14,712,500 株 |
| ② 期末自己株式数 | 28年3月期3Q | — 株 | 27年3月期 | — 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 28年3月期3Q | 15,605,129 株 | 27年3月期3Q | 13,652,640 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記載等についてのご注意)

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績値は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、P3.「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料については、決算発表後にホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等 | 5 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | 6 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 8 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (セグメント情報等) | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績の概況は、連結売上高358,036千円（前年同四半期比28.0%減少）となりました。

これは、スマートフォンアプリ事業において第1四半期連結会計期間に、スマートフォンゲームアプリ「Flyff All Stars（フリフオールスターズ）」日本語版のダウンロード配信開始により、売上高が増加したものの、オンラインゲーム事業のアイテム販売やロイヤリティ収入が全地域で減少傾向が継続しており、売上高が減少したことによります。

なお、株式会社ガーラウェブの全株式を平成27年4月23日にトライバック・ストラテジー株式会社に譲渡したことにより、第1四半期連結会計期間から連結の範囲から除外し、その他事業の売上高も減少いたしました。

また、販売費及び一般管理費につきましては、「Flyff All Stars（フリフオールスターズ）」日本語版のダウンロード配信開始に伴い、TVCMやWEBプロモーション、オフラインイベント開催等のマーケティング活動の費用を計上したことにより、営業損失390,996千円（前年同四半期営業損失227,575千円）、経常損失392,115千円（前年同四半期経常損失197,535千円）親会社株主に帰属する四半期純損失415,357千円（前年同親会社株主に帰属する四半期純損失203,563千円）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

① 日本

日本セグメントでは、国内子会社㈱ガーラジャパンが平成27年6月から「Flyff All Stars（フリフオールスターズ）」日本語版のダウンロード配信を開始し、平成27年6月に英語版を含む全世界で100万ダウンロード（日本語版は36万）を達成し、日本語版は平成27年6月18日に50万ダウンロードを達成いたしました。第1四半期連結会計期間において、「Flyff All Stars（フリフオールスターズ）」日本語版の売上高はダウンロード配信開始後の初月であり、概ね順調に推移したものの、第2四半期連結会計期間からダウンロード数や売上高は低調な推移となりました。

また、前連結会計年度において日本セグメントの主要子会社でありました㈱ガーラウェブの全株式を平成27年4月23日にトライバック・ストラテジー株式会社に譲渡したことにより、第1四半期連結会計期間から連結から除外したため、㈱ガーラウェブのその他事業売上高の計上が無くなり、当社が保有するゲームキャラクターに関する知的財産権により、「Flyff All Stars（フリフオールスターズ）」のロイヤリティ収入が増加したものの、日本セグメントの売上高（内部取引を含む）は減少いたしました。

また、「Flyff All Stars（フリフオールスターズ）」日本語版のダウンロード配信開始に伴い、AKB48を起用したTVCM放映や、WEBプロモーション、イベント開催等のマーケティング活動により、当該ゲームの認知度を向上させることを中心にプロモーションを積極的に展開した結果、前年同四半期比で大幅増のマーケティング費用を計上したことにより、販売費及び一般管理費が増加いたしました。

なお、平成27年10月15日に韓国のPlayWorks Corporationが開発したリアルタイム本格的MMORPGスマートフォンゲームアプリ「Arcane（アーケイン）」の英語版及び日本語版のライセンスを当社が取得し、当第3四半期連結会計期間から㈱ガーラジャパンが日本語版の配信に向けて準備を行っております。

これらの結果、日本セグメントにおける売上高は75,219千円（内部取引を含む）と前年同四半期比で54,182千円（41.9%）の減収となり、セグメント損失が269,254千円（内部取引を含む。前年同四半期は146,300千円の損失）となりました。

② 韓国

韓国セグメントでは、Gala Lab Corp.のオンラインゲーム事業で主力ゲームの「Flyff Online（フリフオンライン）」及び「Rappelz（ラペルズ）」において、ユーザーへのアイテム販売減少によるロイヤリティの減収やライセンス期間終了によるライセンスフィーの減収等から大幅に売上高が減少いたしました。

また、スマートフォンアプリ事業では、「Flyff All Stars（フリフオールスターズ）」日本語版のダウンロード配信開始に伴い、ロイヤリティ収入（内部取引）が増加いたしました。オンラインゲーム事業の減収の影響が大きく、韓国セグメントの売上高は335,995千円（内部取引を含む）と前年同四半期比で98,910千円（22.7%）の減収となり、セグメント損失が123,960千円（内部取引を含む。前年同四半期は88,965千円の損失）とな

りました。

なお、Gala Connect Inc. 及びGala Mix Inc. は事業準備中であり、当第3四半期連結会計期間からGala Mix Inc. が「Arcane (アーケイン)」の英語版の配信に向けて準備を行っております。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて674,271千円増加し、914,301千円となりました。

主な増減は、資産では現金及び預金が608,770千円増加し、売掛金が47,996千円減少し、権利金が36,054千円増加いたしました。負債では、短期借入金13,377千円減少し、未払金が40,348千円減少し、退職給付に係る負債が12,003千円増加し、長期前受収益が15,261千円減少いたしました。純資産では、資本金が526,837千円増加し、資本剰余金が559,387千円増加し、利益剰余金が415,357千円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社及び当社グループは、スマートフォンアプリ事業における、アプリの開発やダウンロード配信が予定どおりに進まない可能性や、ダウンロード配信開始後のアプリによる課金収入の予測が極めて困難であり、また、オンラインゲーム事業における、既存タイトルのバージョンアップによる業績予想が極めて困難であることから、業績予測の公表を差し控えさせていただいております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、連結子会社㈱ガーラウェブの全株式を譲渡したことにより、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外いたしました。

なお、連結子会社㈱ガーラジャパンと連結子会社㈱ガーラポケットは、㈱ガーラジャパンを存続会社とする吸収合併を実施いたしました。四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

第2四半期連結会計期間より、新たに設立したGala Mix Inc. を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、
第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純損失は32,550千円増加しております。また、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金が32,550千円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において営業損失288,596千円及び親会社株主に帰属する当期純損失271,820千円を計上しております。また、当第3四半期連結累計期間においても売上高は358,036千円、前年同四半期比28.0%減少となり、営業損失390,996千円及び親会社株主に帰属する四半期純損失415,357千円を計上しており、現在の低迷した売上状況が継続すれば営業損失が継続し資金繰りに懸念が生じる可能性があります。当該状況等により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループは、当該状況等を解消し、又は改善するための対応策として、① スマートフォンアプリ事業における自社グループでのゲームアプリの開発、②スマートフォンアプリ事業における他社開発ゲームアプリのライセンス獲得、③ 資金繰りについて取り組んでおります。

当社グループの対応策の詳細は、「4. 四半期連結財務諸表(3) 継続企業の前提に関する注記」に記載しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 379,478 | 988,249 |
| 売掛金 | 109,646 | 61,650 |
| 前渡金 | 34,698 | 36,453 |
| その他 | 19,082 | 25,039 |
| 貸倒引当金 | △2,347 | △67 |
| 流動資産合計 | 540,559 | 1,111,324 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 5,325 | 4,057 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 254 | 193 |
| 権利金 | - | 36,054 |
| 無形固定資産合計 | 254 | 36,247 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 389 | 372 |
| 長期貸付金 | 103,862 | 100,579 |
| 破産更生債権等 | 23,062 | 23,062 |
| 敷金及び保証金 | 8,098 | 5,418 |
| その他 | 15,449 | 12,239 |
| 貸倒引当金 | △20,303 | △20,303 |
| 投資その他の資産合計 | 130,558 | 121,368 |
| 固定資産合計 | 136,138 | 161,673 |
| 資産合計 | 676,697 | 1,272,997 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 9,147 | 2,759 |
| 短期借入金 | 13,377 | - |
| 未払金 | 56,056 | 15,707 |
| 未払費用 | 57,837 | 50,424 |
| 前受金 | 28,648 | 27,304 |
| 前受収益 | 24,238 | 21,312 |
| 未払法人税等 | 1,575 | 930 |
| 賞与引当金 | 3,674 | - |
| その他 | 6,761 | 8,779 |
| 流動負債合計 | 201,317 | 127,218 |
| 固定負債 | | |
| 長期前受収益 | 105,455 | 90,193 |
| 繰延税金負債 | 44 | 38 |
| 退職給付に係る負債 | 78,979 | 90,983 |
| 長期預り保証金 | 50,870 | 50,262 |
| 固定負債合計 | 235,349 | 231,477 |
| 負債合計 | 436,667 | 358,696 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,564,085 | 3,090,922 |
| 資本剰余金 | 1,092,544 | 1,651,931 |
| 利益剰余金 | △2,938,017 | △3,353,375 |
| 株主資本合計 | 718,612 | 1,389,479 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 93 | 82 |
| 為替換算調整勘定 | △512,463 | △504,036 |
| その他の包括利益累計額合計 | △512,370 | △503,954 |
| 新株予約権 | 25,093 | 15,117 |
| 非支配株主持分 | 8,694 | 13,658 |
| 純資産合計 | 240,030 | 914,301 |
| 負債純資産合計 | 676,697 | 1,272,997 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 497,132 | 358,036 |
| 売上原価 | 130,719 | 74,313 |
| 売上総利益 | 366,412 | 283,722 |
| 販売費及び一般管理費 | 593,988 | 674,719 |
| 営業損失(△) | △227,575 | △390,996 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 6,570 | 1,946 |
| 為替差益 | 24,268 | - |
| 還付消費税等 | - | 1,702 |
| その他 | 619 | 213 |
| 営業外収益合計 | 31,458 | 3,862 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,343 | 1,108 |
| 為替差損 | - | 3,835 |
| その他 | 74 | 37 |
| 営業外費用合計 | 1,418 | 4,981 |
| 経常損失(△) | △197,535 | △392,115 |
| 特別利益 | | |
| 新株予約権戻入益 | 304 | 2,912 |
| 契約解除益 | - | 863 |
| 固定資産売却益 | 41 | 500 |
| 関係会社株式売却益 | - | 725 |
| 特別利益合計 | 345 | 5,001 |
| 特別損失 | | |
| 契約解除損失 | - | 32,730 |
| 特別損失合計 | - | 32,730 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △197,189 | △419,844 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 8,274 | 5,988 |
| 法人税等合計 | 8,274 | 5,988 |
| 四半期純損失(△) | △205,463 | △425,833 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △1,900 | △10,475 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △203,563 | △415,357 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純損失(△) | △205,463 | △425,833 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △6 | △11 |
| 為替換算調整勘定 | △40,966 | 8,311 |
| その他の包括利益合計 | △40,972 | 8,300 |
| 四半期包括利益 | △246,436 | △417,532 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △245,346 | △406,941 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △1,090 | △10,591 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社及び連結子会社(以下、「当社グループ」という。)は、前連結会計年度において営業損失288,596千円及び親会社株主に帰属する当期純損失271,820千円を計上しております。また、当第3四半期連結累計期間においても売上高が前年同四半期に比べ28.0%減の358,036千円となり、営業損失390,996千円及び親会社株主に帰属する四半期純損失415,357千円を計上しております。現在の低迷した売上状況が継続すれば営業損失が継続し資金繰りに懸念が生じる可能性があります。当該状況等により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループは、当該状況を早期に解消又は改善すべく、以下の対応策を実施してまいります。

まず、スマートフォンアプリ事業において、自社グループ開発ゲームアプリ「Flyff All Stars (フリフオールスターズ)」の多言語展開を進め、収益化を目指します。

また、自社グループ開発のPCオンラインゲーム「Rappelz (ラペルズ)」を題材としたゲームアプリの開発に着手し、当該ゲームアプリの早期開発を目指し、当該ゲームアプリの収益化を目指します。さらに、ゲームアプリ「Arcane (アーケイン) のライセンスを獲得し、提供準備を進めております。これらにより、提供するゲームアプリを増やし、収益化を目指します。

資金繰りにつきましては、第1四半期連結会計期間に第三者割当による株式及び新株予約権を発行し、当該新株予約権の権利行使により、当面の事業資金として1,018,858千円を調達いたしました。

以上の施策を実施するとともに、今後も引き続き有効と考えられる施策については、積極的に実施してまいります。

しかしながら、これらの改善策を実施してもなお、今後の売上高及び利益の回復は、組織体制の見直し、スマートフォン向けアプリの開発の進捗状況、市場投入の時期、市場での競争激化による環境の変化等に左右されることから、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、当社グループの四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 株主資本の著しい変動

当社は平成26年7月18日、平成26年9月4日、平成26年9月8日、平成26年9月18日、平成26年10月1日及び平成26年12月9日にOakキャピタル(株)から新株予約権の行使による払込を受けました。この結果、当社グループ役職員のストック・オプション行使による払込も併せて、当第3四半期連結累計期間において資本金が158,531千円、資本準備金が158,531千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が、2,559,905千円、資本剰余金が1,088,364千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 株主資本の著しい変動

当社は、平成27年5月11日付で、Oakキャピタル株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。また、同日付でOakキャピタル株式会社に発行した新株予約権の一部が第1四半期連結累計期間に権利行使されました。

また、平成27年8月6日付でGala Lab Corp. が非支配株主から株主割当増資の払い込みを受け、資本剰余金が32,550千円増加いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間において、資本金が526,837千円、資本準備金が526,837千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が3,090,922千円、資本剰余金が1,651,931千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|---------------------------|----------|---------|----------|--------------|--------------------------------|
| | 日本 | 韓国 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| (1) 外部顧客への売上高 | 65,886 | 431,246 | 497,132 | — | 497,132 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 63,515 | 3,660 | 67,176 | △67,176 | — |
| 計 | 129,402 | 434,906 | 564,308 | △67,176 | 497,132 |
| セグメント損失(△) | △146,300 | △88,965 | △235,265 | 7,689 | △227,575 |

(注) 1. セグメント損失の調整額7,689千円は、セグメント間取引消去7,689千円であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度に米国子会社Gala Innovative Inc.の事業活動を休止したため、第1四半期連結累計期間から同社を「日本」セグメントに含めております。これにより、第1四半期連結累計期間から「米国」セグメントはありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|---------------------------|----------|----------|----------|--------------|--------------------------------|
| | 日本 | 韓国 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| (1) 外部顧客への売上高 | 37,537 | 320,498 | 358,036 | — | 358,036 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 37,681 | 15,497 | 53,178 | △53,178 | — |
| 計 | 75,219 | 335,995 | 411,214 | △53,178 | 358,036 |
| セグメント損失(△) | △269,254 | △123,960 | △393,214 | 2,218 | △390,996 |

(注) 1. セグメント損失の調整額2,218千円は、セグメント間取引消去2,218千円であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。